

第四期特定健康診査等実施計画

池友会健康保険組合

最終更新日：令和 6 年 03 月 28 日

特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】		
No.1	本人男性、本人女性とも増加傾向にあり、特に本人女性の増加傾向が強い。 本人男性は、生活習慣やストレスに由来する循環器系疾病や内分泌・栄養・代謝疾患の割合が目立つ。 本人女性は、20代の加入者がひときわ多く、伴って医療費も嵩んでいる。 また、女性特有の新生物、乳房・女性性器疾患、月経・閉経周辺期障害による医療費割合が大きい。	➔ 特定保健指導対象者への個別勧奨を行う。 就業時間中に指導を受けることのできる環境づくりを事業所に継続して求める。 従来の子宮頸がん検診と乳がん検診に加えて、婦人科内診の導入も検討する。 婦人系疾患の相談窓口設置を検討する。
No.2	男女とも緩やかな増加傾向にある。 特定健診受診率、特定保健指導実施率が極めて低い。 医療費の割合では、呼吸器系疾患、特にアレルギー性鼻炎、急性気管支炎・細気管支炎、喘息が目立つ。	➔ 被扶養者のうち、勤務先での健診結果(異なる健診種別でも必須項目を満たしていれば登録は可能)の提出依頼を検討する。 提出依頼においては、提出者へのインセンティブ付与も視野に入れる。 特定保健指導対象者への個別勧奨を行う。 HPや健保ニュースを通して、日々の健康づくりや免疫力向上を目指した情報発信を積極的に実施する。
No.3	全体的に増加傾向にある。	➔ 健保連福岡連合会が出資する健康サポート事業「Dケア30」への参加を継続する。 歯科検診の費用補助導入を検討する。
No.4	【糖尿病】、【高血圧症】、【高脂血症】は、有病者数が増加傾向にあり、医療費も大きな割合を占める。 【高血圧性疾患】は、有病者数の増加傾向が強い。 【肺性心疾患・肺循環】は、有病者数に対して、医療費が高む傾向がある。	➔ 特定健診の受診率向上、特定保健指導の実施率向上を目指す。 中～長期的な運動促進プログラムを企画する。 HPや健保ニュースを通して、塩分や脂質を控えられる簡単なレシピが市販食品といった食に関する情報や、睡眠時間確保の重要性などを継続的に発信する。
No.5	【乳房】と【女性生殖器】は、有病者数が横ばいか微増なのに対して、医療費の増加傾向が強い。	➔ 子宮頸がん検診・乳がん検診の受診勧奨を行う。 乳がんの自己検診の実習会をWeb・動画配信など聴講しやすい形式での実施を検討する。
No.6	【インフルエンザ】は、有病者数と医療費ともに、2020年度から激減したが、2022年度に大きく増加している。 【アレルギー性鼻炎】は、有病者数と医療費ともに増加傾向、かつ、季節性疾患で最も大きな割合を占める。	➔ インフルエンザ予防接種を推奨する。 流行期前に、HPや健保ニュースを通して、家庭での感染予防や免疫力向上をテーマにした情報発信を強化する。
No.7	【統合失調症、妄想障害】は、有病者数に対して医療費が高む傾向が強い。 【気分〔感情〕障害】は、有病者数が緩やかな増加傾向にあり、医療費割合が大きい。	➔ メンタルヘルス・カウンセリングの外部相談窓口の設置を検討する。 外部カウンセラーによる定期的な巡回実施を事業所に求める。

基本的な考え方（任意）

-

特定健診・特定保健指導の事業計画【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

1 事業名	特定健診（被保険者）	対応する健康課題番号	No.1, No.4
-------	------------	------------	------------

↓

事業の概要		事業目標							
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者	特定健診の受診率向上、被保険者の健康維持							
方法	-	評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
体制	-		特定保健指導レベルの悪化率	1 %	1 %	1 %	1 %	1 %	1 %
			アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
			特定健診受診率	95 %	95 %	95 %	95 %	95 %	95 %

実施計画		
R6年度	R7年度	R8年度
第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施
R9年度	R10年度	R11年度
第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施

2 事業名

特定健診（被扶養者）

対応する
健康課題番号

No.2 , No.4



事業の概要

対象	対象事業所：全て, 性別：男女, 年齢：40～74, 対象者分類：被扶養者
方法	-
体制	-

事業目標

特定健診の受診率向上、被扶養者の健康維持

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定保健指導レベルの悪化率	1 %	1 %	1 %	1 %	1 %	1 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定健診受診率	19.3 %	21.9 %	24.5 %	27.1 %	29.7 %	32.3 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施
R9年度	R10年度	R11年度
第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施

3 事業名

特定保健指導

対応する
健康課題番号

No.1 , No.2 , No.4



事業の概要

対象	対象事業所：全て, 性別：男女, 年齢：40～74, 対象者分類：基準該当者
方法	-
体制	-

事業目標

特定保健指導実施率の向上、生活習慣病有病者・予備軍の減少。

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定保健指導レベルの改善率	1 %	1 %	1 %	1 %	1 %	1 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定保健指導実施率	54.3 %	55.9 %	57.5 %	59.1 %	60.6 %	62.2 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施
R9年度	R10年度	R11年度
第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施	第2期データヘルス計画から継続して実施

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	1,108 / 1,319 = 84.0 %	1,113 / 1,319 = 84.4 %	1,118 / 1,319 = 84.8 %	1,123 / 1,319 = 85.1 %	1,128 / 1,319 = 85.5 %	1,133 / 1,319 = 85.9 %
		被保険者	1,071 / 1,127 = 95.0 %	1,071 / 1,127 = 95.0 %	1,071 / 1,127 = 95.0 %	1,071 / 1,127 = 95.0 %	1,071 / 1,127 = 95.0 %	1,071 / 1,127 = 95.0 %
		被扶養者 ※3	37 / 192 = 19.3 %	42 / 192 = 21.9 %	47 / 192 = 24.5 %	52 / 192 = 27.1 %	57 / 192 = 29.7 %	62 / 192 = 32.3 %
	実績値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	69 / 127 = 54.3 %	71 / 127 = 55.9 %	73 / 127 = 57.5 %	75 / 127 = 59.1 %	77 / 127 = 60.6 %	79 / 127 = 62.2 %
		動機付け支援	59 / 68 = 86.8 %	60 / 68 = 88.2 %	61 / 68 = 89.7 %	62 / 68 = 91.2 %	63 / 68 = 92.6 %	64 / 68 = 94.1 %
		積極的支援	10 / 59 = 16.9 %	11 / 59 = 18.6 %	12 / 59 = 20.3 %	13 / 59 = 22.0 %	14 / 59 = 23.7 %	15 / 59 = 25.4 %
	実績値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1）特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2）特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3）特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方（任意）
-
特定健康診査等の実施方法（任意）
被保険者（任継除く）・・・事業所が実施する定期健康診断に併せて実施 その他・・・集合契約
個人情報の保護
個人情報保護管理規程・情報セキュリティ基本方針及びシステム運用等管理規程等各規程に基づき管理を行う
特定健康診査等実施計画の公表・周知
ホームページへの掲載、健康管理推進委員会等を活用し事業所担当者及び加入者へ特定健診について啓蒙を図る
その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）
毎年度実績の把握・評価し、必要に応じて適宜見直しを行う。